8 無開口部コンクリート造プレキャストパネル

4 押出成形セメント板（ＥＣＰ）

（８．５．２～８．５．４）（表８．５．１）（表８．５．２）

施工箇所	表面形状	厚さ（mm）	幅（mm）	工法	耐火性能
・外壁パネル	※フラットパネル			・Ａ種	※有り（　　）
	・デザインパネル			・Ｂ種	・無し
	・タイルペースパネル				
・間仕切壁パネル	※フラットパネル			・Ｂ種	※無し
	・デザインパネル			・Ｃ種	・有り（　　）
	・タイルペースパネル				

9 防水工事

1 アスファルト防水

（９．２．２）（９．２．３）（表９．２．３）～（表９．２．８）

種　別	施　工　箇　所
・ＡＩ－２	
・Ａ－２	
・Ｄ－２	
・ＢＩ－２	
・Ｅ－１	浴室

アスファルト　※３種　・　（９．２．２）

断熱工法の断熱材　厚さ（mm）　※２５mm　・図示　（９．２．２）

材質　※押出法ポリスチレンフォーム３種ｂ　スキン層付　・図示

乾式保護材の材料　（９．２．２）

種　類		寸法（mm）；厚さ×幅	適　用
・押出成形セメント板（窯業系パネル）	※Ⅰ類	※１５　×	※無石綿に限る
	・Ⅱ類	・　　×	
・金属複合板		※１２　×	

2 改質アスファルトシート防水

（９．３．２）（９．３．３）（表９．３．１）～（表９．３．３）

種　別	施　工　箇　所
・ＡＳ－Ｔ１	
・ＡＳ－Ｔ４	
・ＡＳＩ－Ｔ４	

3 合成高分子系ルーフィングシート防水

（９．４．２）（９．４．３）（表９．４．１）（表９．４．２）

種　別	厚　さ	施　工　箇　所	仕上塗料塗り	使用分類
・Ｓ－Ｆ２	2	車寄せ屋根	・　シルバー	・非歩行
・ＳＩ－Ｆ２			・　カラー	・軽歩行

ＰＣコンクリート部材下地　（９．４．４）

目地処理（接着工法）　※図示

入隅部の増張り（Ｓ－Ｆ１、Ｓ－Ｆ２工法の場合）　※行わない　・行う（幅　　mm程度）

4 塗膜防水

（９．５．２）（９．５．３）（表９．５．１）（表９．５．２）

種別	施　工　箇　所	備　考
・Ｘ－１		仕上塗料塗り
・Ｘ－２		・シルバー　・カラー
・FRP		

種別　Ｘ－１の脱気装置

・設ける　　材質　　※製造所標準仕様　・（　　）

設置数量　※製造所指定数量　・（　　㎡当たり１箇所）

⑤ シーリング

下表以外は標仕表９．６．１による　（９．７．２）（表９．７．１）

施　工　箇　所	シーリング材の種類（記号）
・図示	ＭＳ－２

接着性試験　（９．７．５）

・行う　※簡易接着性試験　・引張接着性試験（施工部位　　）

・行わない

⑥ 防水の保証等

※防水工事は、防水施工業者、請負者及び製造所との３者連名の保証書を提出する。

工　法　種　別	施　工　箇　所	保　証　期　間
・Ｘ-2工法		１０年間
・ＦＲＰ工法		１０年間
・　　工法		１０年間

10 石工事

1 天然石張り

石の品質　（１０．２．１）

床用石材　　※２等品　・１等品（施工場所　　）

壁及びその他の石材　※１等品　・２等品（施工場所　　）

石の種類・表面仕上げ　（１０．２．１）（表１０．２．１）（表１０．２．２）

施工箇所	種　類	産地・名称	厚さ（mm）	仕上げの種類
・図示	花崗岩	普及品	図示	図示

2 テラゾ張り

種石の種類　　※大理石　・　（１０．２．１）

表面仕上げ　　※本磨き　・　（表１０．２．２）

3 床及び階段の石張り

床石張りの石裏面処理　・行う　（１０．６．２）

屋内のワックス掛け　・行う　（１０．１．５）

11 タイル工事

① 陶磁器質タイル

タイルの種類　・図示　（１１．２．２）

施工場所・用途	形状寸法（mm）	耐凍害性 あり	耐凍害性 なし	うわぐすり 施釉	うわぐすり 無釉	役　物 あり	役　物 なし	色 標準	色 特注	備　考
		・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	

役物：標準的な曲がり（小口、標準、二丁、屏風）の役物は一体成形とする

タイルの見本焼き　※　行わない　・行う（※外装タイル　・　　）

2 壁タイル張り工法

内装タイル　・壁タイル接着剤張り　（・　　）（１１．３．３）（表１１．３．２）

外装タイル　・壁タイル接着剤張り　（・　　）３）（表９．４．１）（表９．４．２）

下地モルタル塗り　※標仕１５．２．２～１５．２．５

タイルの試験張り　※行わない　・行う（※外装タイル　・　　）

3 コンクリート素地面の処理

※ＭＣＲ工法又は目荒らし工法（ポリマーセメントモルタル下地）　（１１．３．７）

施工範囲　※図示

4 陶磁器質タイル型枠先付け工法

（１１．２．２）（１１．４．２）（表１１．４．１）

適用タイル	種　別	タイル型枠先付面のせき板
・小口タイル	※タイルシート法	※標仕６．９．３［材料］（ｂ）（２）又は金属製
・二丁掛タイル	・目地側工法	タイル先付け用パネル
・大形タイル	・桟木法	・

12 木工事

① 製　材

※標仕１２．２．１による　（１２．２．１）

保存処理木材の適用箇所　※１２．２．１（ｂ）による

・市販品

・標仕表１２．２．３による　（１２．２．１）

・標仕表１２．２．３によるほか、樹種のうち杉は「越後杉ブランド」を使用する

・代用樹種を適用しない箇所（　　）

② 樹　種

③ 造作用集成材

（１２．２．１）

品　名	規格・品質	芯材の樹種	化粧単板の樹種
・造作用集成材	※１級　・２級	・	
・化粧ばり造作用集成材	※１級　・２級	・	
・化粧ばり構造用集成材	※１級　・２級	・	
・設計書による	・	・	

④ 接着剤

接着剤に含まれる可塑剤は、難揮発性のものとする。　（１２．２．２）

⑤ 防腐・防蟻処理

防腐処理　※行う（適用範囲　※標仕１２．２．８（ｃ）による　・図示）　（１２．３．１）

防蟻処理　・行う（適用範囲　社団法人日本しろあり対策協会「新築建築物しろあり予防処理標準仕様書」による）　（１２．３．１）

防腐・防蟻処理は、クロルピリホス等を含有しない非有機リン系の表面処理用木材保存剤とし、種類及び品質等が確認できる資料を監督員に提出し承諾を受ける。

防腐・防蟻処理の方法

工場における加圧式とし、十分に乾燥を行う。

ただし、現場における加工が生じた場合には、加工した箇所に対し、現場にて表面処理用木材保存剤を塗布することとする。

13 屋根及びとい工事

① 長尺金属板葺

（１３．２．２）（１３．２．３）（表１３．２．１）

屋根葺形式	長尺金属板の種類	板厚（mm）
・瓦棒葺き（勘合式）	※塗装溶融５５％アルミニウム亜鉛合金めっき鋼板	・0.35
・横葺き	・	・0.40
	・カラーステンレス鋼鈑	・

2 折 板 葺

（１３．３．２）（１３．３．３）（表１３．２．１）

形　式	※重ね形　・はぜ締め形
形状（mm）	山高（　　）山ピッチ（　　）　板厚　※　０．６　・　０．８
材　料（規格等）	※塗装溶融５５％アルミニウム亜鉛合金めっき鋼板 ・
軒先面戸板	※有り　・無し
断熱材	※有り（種別　　厚　　mm）　・　無し
耐火性能	※３０分耐火　・　無し

材　種　　※配管用鋼管　・硬質ポリ塩化ビニル管　（１３．５．２）（表１３．５．１）

・カラー硬質ポリ塩化ビニル管

鋼管製といの防蝕　※標仕表１３．５．５による

掃除口　・有り　・無し

3 と　い

14 金属工事

1 あと施工アンカーの引抜き耐力試験

※適用する。　（１４．１．３）

② ステンレスの表面仕上げ

種　類	施　工　箇　所
※ＨＬ程度	下記以外の見え掛かり全て
・Ｎｏ２Ｂ程度	
・図示	
・	

3 アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理

（１４．２．２）（表１４．２．１）

種　別	色合い	施　工　箇　所
・Ｂ－１種	無着色	
・Ｂ－２種	・ブラウン系 ・ブラック ・ステンカラー	
・		

4 鉄鋼の亜鉛めっき

（１４．２．３）（表１４．２．２）

表面処理法	種　別	施　工　箇　所
溶融亜鉛めっき	・Ａ種（板厚６．０mm以上）	
	・Ｂ種（板厚３．２mm以上）	
	・Ｃ種（板厚１．６mm以上）	
電気亜鉛めっき	・Ｄ種	
	・Ｅ種	
	・Ｆ種	

5 軽量鉄骨天井下地

屋外の場合の形式及び寸法　（１４．４．３）（表１４．４．２）

※下記以外は、標仕１４．４．３及び表１４．４．２による

下地材の間隔（mm） 野縁受、吊りボルト、インサート 中央部	周辺部	野　縁	施　工　箇　所

ただし、建築基準法に基づき指定する条件により、定まる風圧力に対応した工法を、標仕１．２．２［施工計画書］による品質計画で定める。

ふところが３ｍを超える場合の補強　※図示　・　（１４．４．４）

6 金属成形板張り

（１４．６．２）（表１４．２．１）

形　状	製法	材　種	寸法（mm）	厚さ（mm）	表面処理	色合い
・スパンドレル形	・押出し ・ロール	※アルミニウム製 ・			・Ｂ－１種 ・Ｂ－２種 ・	無着色 ・ブラウン系 ・ブラック ・ステンカラー
・パネル形	※プレス ・					

伸縮調整継手　※設けない　・設ける（施工箇所は図示）　（１４．６．３）

7 アルミニウム製笠木

オーブン形式アルミニウム製笠木の種類　（１４．７．２～３）（表１４．２．１）（表１４．７．１）

種　類	呼称肉厚（mm）	表面処理及び色合い		固定間隔・方法
・１７５形	１．６以上	※Ａ－１又はＢ－１種（無着色）		建築基準法に基づき指定する条件により定める
・２５０形	１．６以上	・Ｂ－２種	・ブラウン系	
・３００形	１．８以上		・ブラック	
・３５０形	２．０以上		・ステンカラー	

コーナー部及び突当たり部等の役物は笠木本体製造所の仕様による。

⑧ 手すり及びタラップ

・図示　（１４．２．１）（１４．８．２～３）（表１４．２．２）

種　類	材料の種別	表　面　処　理	
・手すり	※ステンレスｓｕｓ３０４	※ＨＬ程度　・鏡面程度	・磨き
	・鉄	亜鉛めっき　外部　※Ｃ種　・ 内部　※Ｅ種　・	
・タラップ	※ステンレスｓｕｓ３０４	※研磨なし　・	
	・鉄	亜鉛めっき　内外部　※Ｃ種　・	

15 左官工事

① 床コンクリートの直均し仕上げ

下表以外は標仕表６．２．４及び標仕１５．３．２による　（表６．２．５）（１５．３．１）（１５．３．２）

施　工　箇　所	平たんさ（mm）	備　考
フリーアクセスフロア（パネル構法）範囲	１mにつき１０以下	塗料塗りの場合も含む
フリーアクセスフロア（溝構法）範囲	３mにつき　７以下	

2 仕上塗材仕上げ

（１５．５．２）（表１５．５．１）

種　類	呼　び　名	仕上げの形状等
・薄付け仕上塗材	・外装薄塗材Ｅ	・砂壁状　・着色骨材砂壁状
	・内装薄塗材Ｅ ・	砂壁状じゅらく
・複層仕上塗材	・複層塗材ＣＥ ・複層塗材Ｅ ・複層塗材ＲＥ ・防水形複層塗材Ｅ ・防水形複層塗材ＲＳ ・ ・ ・	・ゆず肌　・凸部処理　※凹凸模様 耐候性　※３種　・２種　・１種 上塗材 溶媒　※水系　・溶剤系 樹脂　※アクリル系　・ ・ポリウレタン系 外観　※つやあり　・つやなし ・メタリック 防水形の増塗材　※行う

防火材料の指定　※屋内の壁、天井の仕上げ材は防火材とする。　（１５．５．２）

16 建具工事

1 見本の製作等

・特殊な建具の仮組等（建具番号　　）　（１６．１．４）

2 防犯建物部品

※適用する（適用部品及び適用位置は図示による　（１６．１．６）

③ アルミニウム製建具（１４外部に面する建具の性能値等　（１６．２．２）（１６．２．４）（表１６．２．１）

種別	耐風圧性	気密性	水密性	枠見込み（mm）	施工箇所
・Ａ種	Ｓ－４	※Ａ－３	※Ｗ－４	※７０	
※Ｂ種	Ｓ－５	・	・	・	
・Ｃ種	Ｓ－６	Ａ－４	Ｗ－５	１００	

表面処理　（１６．２．４）（表１４．２．１）

施工箇所	種　別	色　合　い　等
外部建具	※Ｂ－１種	無着色
	・Ｂ－２種	標準色（※ブラウン系　・ブラック　・ステンカラー）
	・	・
内部建具	※Ｃ－１種又はＢ－１種	無着色
	・Ｃ－２種又はＢ－２種	標準色（※ブラウン系　・ブラック　・ステンカラー）

④ 網　戸

防虫網　（１６．２．３）

網の種別　※合成樹脂製　・ガラス繊維入り合成樹脂製　・ステンレス（ＳＵＳ３１６）製

形　式　・外部可動式　・固定式　・図示

5 鋼製建具（標準型鋼製建具を含む）

簡易気密型ドアセットの性能の適用　（１６．４．２）（１６．４．６）（表１６．４．１）

※適用する（適用箇所は建具表による）　・適用しない

外部に面する建具の耐風圧性　（１６．３．２）（表１６．２．１）

・Ｓ－４　・Ｓ－５　・Ｓ－６

鋼板類の厚さ（１枚の戸の有効間口幅９５０mm又は有効高さ２，１００mmを超える場合）

※下表以外は表１６．３．２による　（１６．３．４）（表１６．４．２）

区　分		使用箇所	厚さ（mm）
窓	枠類	外部の下枠、水切り板	２．３
出入口	枠類	外部に面するスイングドアの建具	２．３
	戸	中骨	２．３

・図示

6 鋼製軽量建具（標準型鋼製軽量建具を含む）

簡易気密型ドアセットの性能の適用　（１６．５．２）（１６．５．６）（表１６．４．１）

・適用する（適用箇所は建具表による）

7 ステンレス製建具

簡易気密型ドアセットの性能の適用　（１６．６．２）（表１６．４．１）

・適用する（適用箇所は建具表による）

外部に面する建具の耐風圧性　（１６．６．２）（表１６．２．１）

・Ｓ－４　・Ｓ－５　・Ｓ－６

表面仕上げ　※ＨＬ仕上げ　・鏡面仕上げ　（１６．６．４）

曲げ加工　※普通曲げ　・角出し曲げ　（１６．６．５）

8 木製建具

かまち戸の樹種　かまち（　　）　鏡板（　　）　（１６．７．２）

ふすまの上張り　※新鳥の子又はビニル紙程度　・鳥の子）　（表１６．７．３）

ふすまの縁の仕上げ　・塗り縁　・生地縁　（表１６．７．９）

・図示

⑨ 建具用金物

マスターキー　※製作する（本数は協議による）　・製作しない　（１６．８．４）

鍵札数量　・錠前１組に２枚とする　・錠前１組に　枚とする　・協議による

10 自動ドア開閉装置

（１６．９．２）（１６．９．３）（表１６．９．３）

開　閉　方　法	センサーの種類
※スライディングドア ・スイングドア	・マットスイッチ　・電子マットスイッチ　・タッチスイッチ　※光線スイッチ ・音波スイッチ　・ペダルスイッチ　・熱線スイッチ　・光電スイッチ ・押しボタンスイッチ　・多機能便所スイッチ

凍結防止措置　※　行わない　・　行う（　　）　（１６．９．３）

11 自閉式上吊り引戸装置

※適用する（適用建具及び適用位置は図示による）　（１６．１０．１）

12 重量シャッター

外部に面するシャッターの耐風圧強度　（　　）　Ｎ／㎡　（１６．１１．２）

開閉機能　※上部電動式（手動併用）　・上部手動式　（１６．１１．２）（表１６．１１．１）

危害防止装置　※　障害物感知装置（自動閉鎖型）　（１６．１１．２）

一般重量シャッターのシャッターケース　※設ける　・設けない　（１６．１１．２）

13 軽量シャッター

開閉形式　※手動式　・上部電動式（手動併用）　（１６．１２．２）

外部に面するシャッターの耐風圧強度　（　　）　Ｎ／㎡　（１６．１２．２）

スラット　厚さ（mm）　・０．５　・０．６　・０．８　・１．０　（表１６．１２．２）

材質　※　塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯　・　（１６．１２．３）

形状　※インターロッキング形　・オーバーラッピング形　（１６．１２．４）

ガイドレール等　※鋼板製　・ステンレス製ＳＵＳ３０４（厚さ１．５mm）　（表１６．１２．２）

シャッターケース　厚さ（mm）　・０．４　・０．８　・　（表１６．１２．２）

14 オーバーヘッドドア

（１６．１３．２）（１６．１３．３）

セクション材料	開閉方式	収納形式	ガイドレール
※スチールタイプ ・アルミニウムタイプ ・ファイバーグラスタイプ	※バランス式 ・チェーン式 ・電動式	・スタンダード形 ・ローヘッド形 ・ハイリフト形 ・バーチカル形	・溶融亜鉛メッキ鋼板 ※ステンレス鋼板（ＳＵＳ３０４）

耐風圧性能による区分　・５０　・７５　・１００　・１２５　（１６．１３．２）

⑮ ガラス

下記以外は、建具表による　・図示　（１６．１４．２）

・合わせガラス

特性による種類　※Ⅱ－１類

・強化ガラス

材料板ガラスによる種類	特性による種類
・フロート強化ガラス ・型板ガラス	Ⅲ類（曲面はⅠ類）

・熱線吸収板ガラス

材料板ガラスによる種類	色　調
・熱線吸収フロート板ガラス ・熱線吸収網入り磨き板ガラス	・ブルー　・グレー　・ブロンズ　・グリーン

・複層ガラス

品　質	断熱性、日射遮へい性による区分
・断熱複層ガラス	※Ｕ３－１　・Ｕ３－２
・日射熱遮へい複層ガラス	・Ｅ４　・Ｅ５

・熱線反射板ガラス

品　質	反射皮膜面	材料板ガラスの種類	映像調整
※熱線反射ガラス ・高性能熱線反射ガラス	※内面　・外面 ・内面	・フロート板ガラス ・熱線吸収フロート板ガラス ・強化ガラス ・倍強度ガラス	※行わない ・行う

・倍強度ガラス

材料板ガラスによる種類の名称	色　調
※フロート倍強度ガラス	
・熱線吸収倍強度ガラス	・グレー　・ブルー　・ブロンズ　・

16 ガラス留め材

ガラス留め材　（１６．１４．２）（表９．７．１）

建具の種類	材　種
アルミニウム製	・シーリング材　※ガスケット（ＦＩＸ部はシーリング材）
鋼製及び軽量鋼製	※シーリング材
ステンレス製	※シーリング材

ただし、防火区画等に用いる場合は建築基準法に基づく規定に定められたもの又は認定を受けた条件による。

担当者：１級建築士　第264277号　近山　富貴

一級建築士事務所
株式会社　堤　建築設計事務所
〒951-8062　新潟市中央区西堀前通二番町715番地 TEL　025-222-6509　FAX　025-229-1702
E-mail：tutumi-a@pearl.ocn.ne.jp 管理建築士　１級建築士登録第125015号　野沢　道行

設計番号	作成年月日	工事名称	区分	図面番号
1709	2017/09/15	旧やひこ観光ホテル跡地整備(休憩所)工事	実施設計	D-04
管理技術者　野沢　主任技術者　近山　作成担当者　朝妻		図面名称：建築工事仕様書その2	縮尺：――	意 構 外 電 機